

## F・ひまわりちゃん（ダウン症） H18年8月生

H20年10月 訓練開始 第1回目（1才10ヶ月）

- \* 症状
  - ・声が小さく聞き取れない。
  - ・口唇だけで発音する。
  - ・アゴが左右に動いてしまうので発音が不明瞭になる。
  - ・こちらの話すことは全て理解でき、返事は首を振って答える。
- \* パパ、ママ、マンマ、いや、などは小さな声（殆ど無声音）で言えるが、語尾がハッキリ聞こえない。
- \* 50音は、あ行～た行まで発音して疲れてしまった。
- \* い列 う列 は口唇を閉じてしまい発音できない。  
（発音不明瞭に見られる現象の一つで、「い」は上下の歯が閉じてしまい、「う」は両唇が閉じてしまう。これは、それらの発音する筋肉が弱い為です）
- \* こちらの話をじっと聞いている。
- \* 50音の発音と、50音の文字書きを含め7項目のトレーニング指導。

※ 今年1月、母親と電話で話しました。

ひまわりちゃんが「あ行～た行」まで発音できるようになった。また、歌をうたうようになって、その歌の語尾もハッキリしてきた、といます。

H21年2月 第2回目

- \* 50音の発音は42音まで言えるようになった。
- \* こちらの問いかけに対して、ハッキリお返事をするようになった。
- \* 数字の1～10まで発音練習を行ってみた。6だけ言えない。

※ 両親が「ひまわりは、50音の発音練習や文字書きを好み、楽しく書いています。また周囲の方たちから、話す声が大きくなったと言われます」と話してくれました。

H21年4月 第3回目

- \* 今日から2文字の、食べ物や動物の発音練習を行い始めた。  
「わに」「ぞう」などはきれいに発音できる。
- \* 「ぱ ぴ ぶ ぺ ぽ」の発音は「ぷ」だけ苦手だが、ほかの音はハッキリ言えるようになった。

※ 集中力は25分程度。

※ 今日からお習字を始めた。ひまわりちゃんはとても楽しそうに書いた。

※ 一般的に、「ことばが出ないうちは学習させない方がいい、その能力は無い」と捉えがちです。しかし、「ことば」と「能力」とはあくまで別なところの問題と考えています。当教室へ来る子供たちの殆どが、声が出ない、もしくは声は出るが何をおしゃべりしているのか分からない。また、ひらがなの文字書きを勉強したことが無いと言う状況です。皆、お勉強が大好きでひらがなの文字書きや数字にも興味を持っています。ひらがなの学習を始めると、自ら絵本を持ち出してきて、(教室の棚に絵本を並べてあるのですが)文字の拾い読みを始めます。まず、取り組んでみて、嫌がるようなら時期尚早と考え時期を見て又、学習を始めるようにしています。